

# 安全で、豊かな、美しい「日本」にしていくために

わたしたちの周りでは、ほんとうに多くの土木がみんなの暮らしを支えていますね。土木が果たしている役割をふりかえって、「土木の旅」を締めくくりましょう。

## 安全な国土をつくるために

日本は地震や台風の多い国です。「災害に強い街づくり」を進めて、みんなの命や家を守り、防災のための土木によって、安心できる国土にしていかなければなりません。

土砂災害から暮らしを守ります。

### 砂防ダム

土砂や土石流を防ぐダムをつくって、山の自然災害による被害を最小限にしています。



山の中につくられた砂防ダム  
[拡大写真]

新しい技術で、地震に強い都市をつくります。

### 震災復旧工事

1995年の「阪神・淡路大地震」で受けた被害の復旧と、今後に備えた補強工事が進められています。



復旧工事

安全に作業するため、遠隔操作による作業も行なわれています。

### 災害復旧工事

火山の噴火による土石流や火砕流の被害を受けた長崎県「雲仙普賢岳」の周辺では、安全に仕事ができるように、無線で操縦できる無人の建設機械によって除石作業が行なわれました。



離れた場所からのリモートコントロール

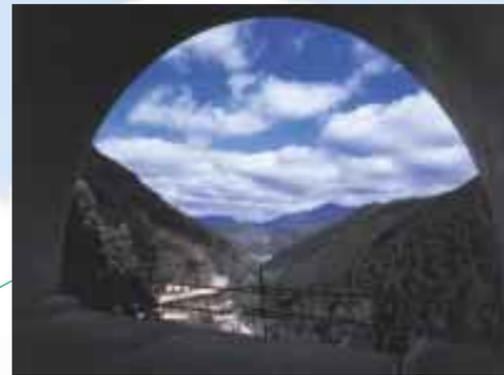


無人で動く作業車

[拡大写真]

## 豊かな国土づくりのために

道路や公園、ダムや橋など、みんなの暮らしや経済活動を支える基盤施設を「社会資本」と呼びます。こうした「社会資本の整備・充実」を進めて、便利で快適な生活を実現する役割を果たしているのが、土木です。



[拡大写真] 工事中のトンネルから見る青空

## 美しい国土と、みんなの未来のために

自然を生かしながら、便利なものをつくっていくのは、むずかしいことですが、みんなが大きくなったとき、美しい自然の中で快適に暮らせるように、努力しています。これからも、もっともって技術をみがいて、「自然と人が仲良く暮らせる社会」にしていくことが、土木の大きなテーマです。



水辺の遊歩道

